松本市消費応援キャンペーン事業【第1弾】

【実施主体】松本市消費応援キャンペーン実行委員会

I 松本プレミアム商品券事業

- 発行総額 **22億1,000万円**
- 発行内容
  - ▶ 販売額 **10,000円**（額面で**13,000円**の買物ができます。）
  - ▶ 発行総数 17万セット
  - ▶ 購入限度 **1人50,000円**（5セットまで）
- 有効期間 R2. 8. 1（土）～R2. 12. 31（木）【5カ月間】
- 申込方法 松本商工会議所への往復はがきによる事前申込み（市民対象とします。）
※応募多数の場合には抽選を実施します。
- 申込期間 **R2. 6. 30（火）～R2. 7. 15（水）【16日間】**
- 販売方法 返信はがきを持参し、指定の郵便局等で現金と引換えに購入
- 引換場所 市内郵便局40カ所、松本市波田商工会 他
- 引換期間 **R2. 7. 28（火）～R2. 8. 31（月）**
- 取扱加盟店 松本商工会議所等へ事前申込み（郵送、FAX、インターネットによる）
※R2. 7. 3（金）までに申込みがあった店舗は、商品券購入者に配布する「取扱店舗一覧」に掲載

プレミアム商品券発行事業の経過

	発行総額	うちプレミアム分	プレミアム率	発行単位
R2年度	22億1,000万円	5億1,000万円	30%	13,000円券/冊（1,000円×8枚、500円×10枚）
R元年度	4億5,213万円	9,042万円	25%	5,000円券/冊（500円×10枚）
H27年度	14億9,635万円	2億4,939万円	20%	12,000円券/冊（1,000円×12枚）

II キャッシュレス決済ポイント還元事業

～スマートフォン決済サービス【PayPay】との連携キャンペーン～

- 還元期間（予定） R2.9.中旬～R2.10.下旬（45日間）
- 還元率（予定） 支払額の30%をポイント還元
- 参加店舗（予定） 約3,000店舗
※還元期間、還元率及び参加店舗の条件等については、PayPay(株)と調整を図ったうえで最終決定します。
- ポイント還元対象 【PayPay】が提供する決済サービスを利用した人
（市民であるかを問いません。）
- 想定する消費規模 約20億円規模を想定

これまでのキャッシュレス化推進の取組み

- ① H31.4に策定した松本市商業ビジョンの基本目標2「魅力的な個店が集積する商業地の形成」において、持続可能な地域社会を形成するためには、**地元の個店での消費を増やし、地域内の経済循環を高める取組みが必要**と明記
- ② 商業ビジョンの7つの重点事業の1つに「**キャッシュレス化の推進**」を位置付け
- ③ R元年度9月補正予算にて「**キャッシュレス専門相談員**」を時限的に配置 → 29事業者に対し支援を実施
- ④ R元年度中に「**キャッシュレス決済導入状況調査**」を実施 → 調査事業所の**5割(*)**が**キャッシュレス決済に対応**
(*)松本商店街連盟・松本市波田商工会・松本市商工親和会連合会の加盟事業者のうち、小売・飲食・サービス・宿泊業を対象に実施
【回答数】643事業所/677事業所（有効回答率95%） 【キャッシュレス決済導入割合】322事業所/643事業所（導入率50.1%）
- ⑤ R2.6.26付で**松本市とPayPay(株)との間で「キャッシュレス化推進に関する包括連携協定」を締結**

タウンズニーカー北コース復便について

1 復便（減便の解消）について

5月18日から一般路線バスの減便を行ってきたが、5月25日に全国で緊急事態宣言が解除となり、徐々に生活が元に戻りつつあるため、アルピコ交通㈱の一般路線バスについては、6月15日（月）減便を解消した。

ただし、この時点では観光客がまだ増加していなかったことから、観光利用がほとんどのタウンズニーカー北コースについては減便を継続した。

その後、6月19日（金）には、県境をまたぐ移動の自粛が全面的に解除され、人の流れが徐々に回復してきていることから、タウンズニーカー北コースのダイヤを元に戻すことにした。

<参考> タウンズニーカー北コースの状況

週末（土・日）の一便当たり利用者数

	R 1	R 2	前年比
5月 第2週	14.2人	1.2人	8.5%
3週	14.3人	1.2人	8.4%
4週	16.6人	1.7人	10.2%
6月 第1週	15.0人	3.5人	23.3%
2週	13.0人	1.6人	12.3%
3週	12.1人	4.6人	38.0%

2 減便解消予定日

7月4日（土）から

3 バス利用促進キャンペーンの実施

7月4日（土）をもって松本市内を走る一般路線バスすべてが通常ダイヤに戻るものとなる。

そこで、以下2点の取組みを強化する。

① 路線バスには、改めて安心安全に乗車いただくための取組みを行う。

② その上で、7月4日からバス利用促進キャンペーンを実施する。

各々が新しい生活様式を各々が実践したうえで、安心してそして安全にご利用いただきたい。

<参考> 路線バスの月別収入状況（前年比）

	自主路線	タウンズニーカー
3月	71.20%	58.40%
4月	48.50%	24.90%
5月	42.90%	21.40%
6月（24日まで）	58.93%	44.46%

4 バス利用促進キャンペーンの概要

(1) 実施期間

7月4日（土）から

(2) キャッチコピー

ちょっとそこまで、バスで行こう
～マスクをつけて安心安全～

(3) 安心安全に乗車いただくための取組み

ア バスの環境衛生の再徹底

(ア) 車内の換気

- a 空調の外気取り入れによる車内の換気（約5分程度で車内の空気が入れ替わります。）
- b 停留所での前後の両ドアの開閉
- c 一部窓の開放
- d 手すりやつり革等の消毒

(イ) 消毒用アルコールの設置

イ 利用者へのお願い

- (ア) 熱がある場合は体調がすぐれない場合は乗車を控える
- (イ) 乗車時にはマスクを着用する
- (ウ) 会話を控える
- (エ) 手すりやつり革を触った手を口や鼻に持っていかない
- (オ) 咳エチケットの徹底

(2) 周知方法

ア 市及びアルピコ交通㈱のホームページへの掲載

イ SNS等による発信

ウ バスターミナル及びバス車内への掲示

7月4日（土）から、
バス利用促進キャンペーンを開始

市長記者会見資料

令和2年6月30日

公共交通・渋滞対策課

ちょっとそこまで、バスで行こう ～マスクをつけて安心安全～

7月4日（土）をもって、松本市内を走る一般路線バス全てが通常ダイヤに戻りました。
そこで、路線バスを安心安全にご利用いただくために、改めて新型コロナウイルス感染症対策を強化し、バスをご利用いただくためのキャンペーンを実施します。

安心してバスにご乗車いただくための取組み

バスに乗るときの注意

- ・ 体調が優れないときは控える
- ・ マスクを着用する
- ・ 会話を控える
- ・ 咳エチケットの徹底 等

バス車内での対応

- ・ 空調による車内換気
（約5分で車内の空気が入れ替わります）
- ・ 停留所での両ドア開放
- ・ 消毒液の設置
- ・ 車内の消毒 等

市長記者会見資料
2. 6. 30
まつもと暮らし応援課

松本市シティプロモーション動画（第1弾）の作成について

1 趣旨

地方移住に関心のある県外在住者をターゲットに、松本市の魅力を発信し、UI ターンの促進を図るため、松本市を紹介する動画を作成したものです。

2 動画について

(1) タイトル

「松本で暮らしてみない？」

(2) 長さ

約7分

(3) 内容

街の様子、日常風景、松本市に暮らす人の表情、市長からのメッセージ 他

(4) 活用方法

オンライン就活セミナーや移住セミナー、市公式 HP や SNS 等を通じて配信します。

3 オンライン就活セミナーについて

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、各地で企業説明会等の中止が相次いでいることから、UI ターンを希望する学生の企業情報収集活動を支援するため、オンラインミーティングツール「ZOOM」を活用した就活セミナーを、松本市として初めて実施するものです。

(2) 実施日時

6月30日（火）10：00～15：40

(3) 内容

ア 松本市シティプロモーション動画（7分）

イ キャリアコンサルタントによる就活セミナー（45分）

ウ 先輩社会人の体験談（60分）

エ 企業紹介（30分×7社）

(4) 申込者（6月29日15時現在）

38名

(5) その他

7月11日（土）には、UI ターンを希望する社会人を対象とした、オンライン転職セミナーを実施します。

4 今後の予定について

松本市への移住希望者は、働き世代が多くを占めていることから、松本市紹介動画の第2弾として「働く」編を作成中です。（7月11日（土）のオンライン転職セミナーで公開予定）

なお、今後も、様々な切り口で松本市の魅力を紹介する動画を作成していきます。

松本市森林再生検討会議の設置について

1 会議の目的

四賀地区を始め、松本市全体の松枯れ対策及び森林の保全・里山の利活用に向けて中・長期的な取組みを検討し、その結果を市長へ提言する。

2 委員構成

学識経験者、有識者及び林業関係者である、次の7名に委員委嘱します。(敬称略)

氏名	所属・肩書	専門分野・現在の取組みなど
くろだ けいこ 黒田 慶子	神戸大学大学院 農学研究科 森林資源学研究室 教授	森林病理学の専門家。森林総合研究所在任中より35年以上にわたり、マツ枯れの基礎研究と現場に関わる。また予防医学の観点から、里山や人工林の健康維持に取り組むなど、里山再生について最も根本的なレベルから資源利用を確実にを行う提言をされている。
いだ ひでゆき 井田 秀行	信州大学 教育学部 森林生態学研究室 教授	森林生態学の専門家。広島大学の大学在任中よりモニタリング調査などで松枯れに関わる。現在は信州大学教育学部教授として、松本市内の山林でも松枯れによる林相の変化に関する調査を行う。
はら かおる 原 薫	一般社団法人 ソマミチ 代表理事	林業会社の代表を務める一方、林業木材業の六次産業化を目指して(一社)ソマミチを創設。木材を適切に利用することで、災害を軽減する山づくりに取り組みながら、森林の多角的利用を通して、里山と市民の活かし生かされる関係性の構築を模索する。
かやま よしと 香山 由人	企業組合 山仕事創造舎 代表理事	山林所有者のとりまとめを行い、若手人材も積極的に採用する中信地域の中核的林業事業体の代表。植林から素材生産まで一貫して地域林業に関わっている。行政関係の林業専門委員を多数引き受け、林業政策にも詳しい。長野県指導林業士。
こじま けんいちろう 小島 健一郎	ラブ・フォレスト(株) 代表取締役	林業の再生をエネルギー利用の観点から取り組む。木質ペレットの普及を目指す市民団体の代表を務め、バイオマスに関するコンサルティング会社を経営。竜島温泉にバイオマスボイラーを導入するのを機に、林業関係者に呼びかけ、松本平森林エネルギー(株)を立ち上げる。
とだ けんいちろう 戸田 堅一郎	長野県林業総合センター 育林部 主任研究員	防災の専門家として、災害に強い森林と樹木根系の関係、林相と災害の関係等を研究。リモートセンシング技術の行政への活用方法の開発にも携わり、衛星画像から植生データを解析して、松枯れ状況の見える化を実現した。全国治山研究発表会でも優秀賞受賞多数。
おおさわ よしいち 大澤 好市	四賀地区町会連合会 会長	四賀地区町会連合会会長として、松枯れ対策に尽力されてきた。四賀の松林のことを最も熟知している住民のおひとり。

3 開催日程

第1回会議

令和2年7月20日（月）19：00～以降、随時開催予定

4 その他

- (1) 令和3年3月までに、専門者会議における検討結果を「提言」としてまとめていただきます。
- (2) 専門者会議での検討及び取組状況については、広く市民の皆様へ説明できる機会を設けます。